

つちおと

平成31年3月29日発行
宮城復興局気仙沼支所気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内3/10^日気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
が開館 ～ 未来へ伝える震災の記憶 ～

3月10日、震災で甚大な被害を受けた宮城県立気仙沼向洋高校の旧校舎に震災伝承館を併設した気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の開館式が開催されました。式典には、復興大臣代理の鈴木宮城復興局次長をはじめとした関係者や、当時東日本大震災で避難所となった市立階上中学校の第64回生徒会長、梶原裕太氏が出席しました。当日は、開館初日にも関わらず県内外から千人を超える人々が来場し、関心の高さをうかがわせました。

東日本大震災遺構・伝承館 開館式

渡辺復興大臣からの祝辞を
代読する鈴木宮城復興局次長気仙沼市
東日本大震災遺構・伝承館3/21^土三陸沿岸道路(唐桑小原木
～陸前高田長部)が開通!!

3月21日、三陸沿岸道路の唐桑小原木IC(気仙沼市)～陸前高田長部IC(陸前高田市)間3.5Kmが開通しました。これにより、三陸沿岸道路は宮城・岩手県境が繋がりました。今後ますますの両県・両市の連携強化が期待されます。

祝 気仙沼市新魚市場 落成式典



渡辺復興大臣からの祝辞を代読する小谷野宮城復興局長

3/16^土

気仙沼市新魚市場落成式

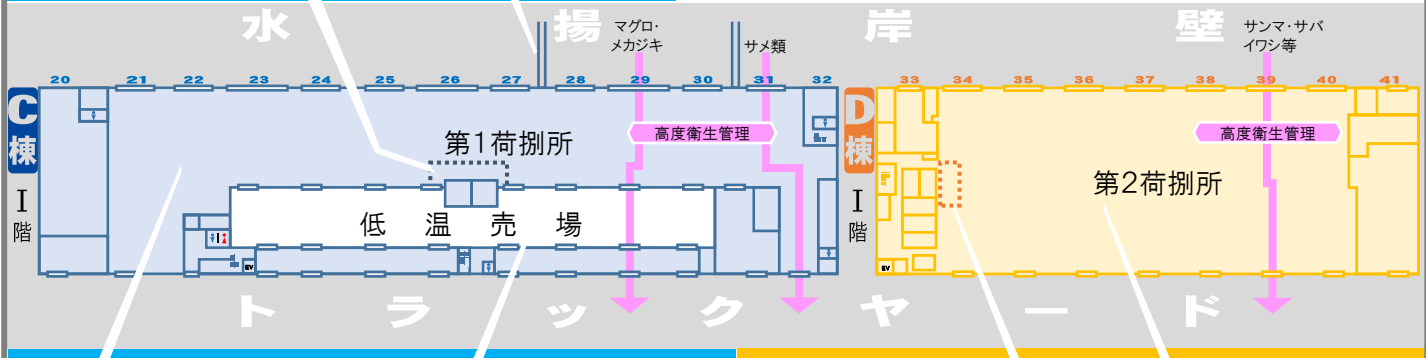
3月16日、復興大臣代理の小谷野宮城復興局長はじめ村井知事や市内の水産関係者ら約200人出席のもと、気仙沼市新魚市場の落成式が行われました。新棟であるマグロやメカジキ、サメ類を扱うC棟、サンマやサバ・イワシ等を水揚げするD棟はともにプレキャストコンクリート製で密閉型の荷捌場を備え、高度衛生管理に対応しています。今後、気仙沼水産物のブランド向上とともに、三陸沿岸道を通じた物流の活性化が期待されます。また、C棟2階には、市民や観光客が利用できるクッキングスタジオが整備されており、そしてさらに今後、気仙沼市の水産業の取組をわかりやすく発信する水産情報等発信施設がオープンする予定です。なお、全体の総事業費は水産流通基盤整備事業や復興交付金等で約186億円となっております。



入札場(大型モニター)



水揚げ用クレーン施設



荷捌所



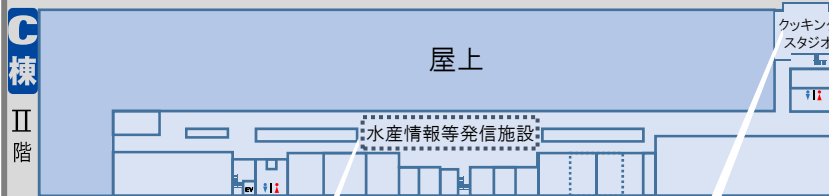
低温売場



入札場(大型モニター)



荷捌所



完成イメージ



クッキングスタジオ



見学スペース

3/8,15^金

平成30年度「復興・創生インターン(春期)」成果報告

～ 気仙沼市・南三陸町ファンになりました ～

気仙沼・南三陸ブロックの「復興・創生インターン(春期)」の報告会が開催されました。2月から約1か月間実施されてきた同事業は平成30年度伴走型人材確保・育成支援モデル事業の一環として実施されました。気仙沼では企業4社に学生8名、南三陸では企業5社に学生9名が参加し、地域コーディネーターのサポートを受けながら、企業の経営課題に対し経営者と力を合わせながら解決に取り組みました。成果報告会では、企業の皆さまをはじめ多くの地域の方々にお出でいただいた中、各自趣向を凝らしながらプレゼンテーションを行い、緊張感のなかにも充実した時間となりました。



南三陸町の報告会場の様子



作業姿で発表に臨む(気仙沼市)

2/18^㊄

戸倉力キ部会が復興大臣顕彰を受賞 ～ 生まれ変わる生産者 ～

復興庁では、被災3県における企業や団体のさまざまな「挑戦」を紹介する事例集を作成しており、その中から、特に参考となる事例に対しは、復興大臣顕彰が授与されます。宮城県漁業協同組合志津川支所「戸倉力キ部会」は、被災を機に団結し、さまざまな工夫を重ね、その中で個人の利益から地域全体の利益を考えるような考え方に転換した点や、力キの品質向上、後継者の増加という結果を着実に出している点等が評価され平成30年度の復興大臣顕彰を受賞致しました。

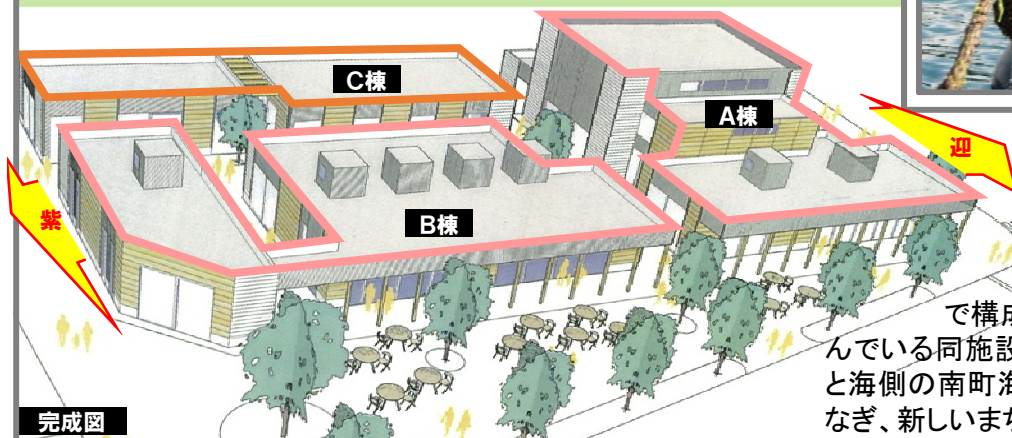
復興庁HP「岩手・宮城・福島産業復興事例30 想いを受け継ぐ次代の萌芽」
<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat4/sub-cat4-1/20190215142526.html>

戸倉力キ部会は、全漁連が主催する第24回全国青年・女性漁業者交流大会(2/28～3/1)においても、その取り組みが評価され農林水産大臣賞を受賞しています。



3/8^㊄

スローストリート地鎮祭開催 ～ にぎわいで埋まるまちづくり ～



完成図

3月8日、気仙沼市内湾地区において、商業施設「(仮称)スローストリート」C棟に係る地鎮祭が行われました。同商業施設は木造平屋建てでABCの3棟で構成されます。12店舗の入居を見込んでいる同施設は、山側の南町紫神社前商店街と海側の南町海岸商業施設「迎(ムカエル)」をつなぎ、新しいまちの活気創出が期待されます。

3/1^㊄

気仙沼大橋が開通 ～ 幅を広く、見通しよく ～



3月1日、市街地の南気仙沼地区と田中前地区をつなぐ気仙沼大橋(長さ105m)が開通しました。旧橋撤去等も含む総事業費は約65億円(橋単体で約30億円)で、復興交付金が活用されました。橋の幅員が旧橋の約2倍(20m)あり、非常時に停車車両があっても通行できるようになっています。

至 田中前



3/3^㊄

2周年!!を迎えたさんさん商店街



3月3日、28店舗が入居する南三陸さんさん商店街が開業2周年を迎えました。2年目の来場者数は60万人と、1年目の65万人に引き続き、多くの人々が同商店街を訪れています。2日・3日と記念のマグロ解体ショーや音楽ライブ等のイベントが催されました。三陸沿岸道が気仙沼市まで延伸したことにより、今後さらに来客が増えることが期待されます。



◆支所長コラム

日中はだいふ春めいて過ごしやすい季節になってきました。3月はNHKのど自慢の開催や、開通・落成ラッシュが続き地域が活気づいたことと思います。

さて、3月8日『「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針』の改定が閣議決定されました。現場主義を徹底し、被災者に寄り添いながら、被災者支援等に取り組むこととされている他、後継組織として復興を成し遂げるための組織を置くことが明記されました。

また、2月28日復興庁は被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対し、交付可能額の通知を行いました。気仙沼市については「片浜地区冠水対策事業」等4事業に約31億円の配分が可能となった他、25事業分は既配分の事業費が流用できることになりました。南三陸町からは「自然環境活用センター整備事業」等9事業が申請されており、既配分の事業費流用が可能となりました。

支所職員一同、今後も関係者と連携を図りながら復興を成し遂げるため頑張って参ります。(吉)

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【3月31日(日)】 気仙沼みなとでマルシェ ～気仙沼市～

震災前、日曜朝市が開かれていた気仙沼市港町に賑わいと呼び戻そうと、有志が動き出して始まった同イベントは、地場産品等の物販や、マッサージ、サウナカーなど、楽しいお店がたくさん出店します。

開催時間：午前8時～午後2時 場所：海の市駐車場



サンオーレ袖浜の
モアイ像



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>) ⇒ **宮城復興局** ⇒ **気仙沼支所だより「つちおと」**

【編集後記】

◆確実に暖かくはなり、氷点下から少し離れました。でもまだまだ手を洗うのにお湯にたよっています。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310